

# 浦河町は夏いちごづくりに最適な気候です！

浦河は海洋性気候のため、夏の平均気温は20.8℃（2020年8月）と涼しく、冬の平均気温もマイナス1.4℃（2020年1月）と北海道では温暖な地域。また、積雪は多くても20センチ程度と少ないため、いちごなどの施設園芸に最適な地域と言えます。町内では、この恵まれた気候条件を活かし、いちご振興に取り組んでおり、年々、生産量、販売額ともに増加しています。

## ○応募条件

※令和6年1月研修開始、令和8年1月就農開始予定の方を募集しております。

1. 浦河町で新規就農を目指す64歳以下の心身共に健康なもの
2. 農業をはじめめるにあたり、家族の積極的な協力が得られること
3. 夫婦（家族）で研修できるもの
4. 収穫物による収入が発生するまでの間に必要な生活資金があること
5. 2年間の就農研修を受けられるもの

## ○応募方法

1. 浦河町担い手育成総合支援協議会に就農相談を行い、一度浦河町に来町してください。
2. 志望調書に必要事項を記入し、必要書類とともに事務局へ提出してください。

※令和5年9月末日締め切りです

※必要書類：住民票の写し、運転免許証の写し、預金通帳の写し

※就農相談は、随時電話・電子メール等で行っております。

## ○浦河町の新規就農者支援制度 ※令和4年11月1日現在

新規就農支援事業	就農研修補助金 (研修期間)	就農予定時に49歳以下の研修者へ、単身者については月額8万円、夫婦で研修をする場合は夫婦合わせて12万円の補助(研修期間中 2年限度)
	就農支度補助金 (就農時)	就農時に64歳以下で、就農研修を終了した当該年または翌年において本町に就農した方に、一経営体につき100万円の補助(就農時の必要資材・機材購入に限る)
	経営安定補助金 (就農後)	就農後64歳以下の新規就農者へ営農年度に必要な農業経費の1/2以内の補助(最大200万円を単年度100万円限度に就農2年目から4年間補助)
	農業大学校等研修補助 (研修期間・就農後)	就農研修中に農業大学校の新規参入者研修等を受講する場合の費用補助 就農後3年以内の新規就農者が農業大学校等で経営研修を受講する場合の費用一部補助
	ハウスリース事業	就農時の負担軽減を図るため、町でハウスを整備し、譲渡付リースを実施(リース料 160万円/年(40万円/年・棟×4棟))(一定期間リース後無償譲渡)
	研修住宅支援	研修期間中(2年限度)に研修住宅を低家賃で貸付 ※約2万円



## 浦河町新規就農支援事業

浦河町で

夏いちご農家になろう



北海道浦河町

## 浦河町担い手育成総合支援協議会

(事務局：浦河町役場産業課)

〒057-8511

北海道浦河郡浦河町築地1丁目3番1号

電話：0146-26-9016 FAX：0146-22-1240

E-mail：sangyo@town.urakawa.hokkaido.jp





# 浦河町の新規就農イメージフロー

## ☆就農相談

- 電話、メール等でお問い合わせください
- 現在は令和6年1月研修開始2名について募集をしております。

## ☆いちごハウス見学

- 新規就農志望調書を提出する前に、一度いちご栽培ハウス団地の見学をしてください。
- ※見学については、事前にご連絡ください。

## ☆調書提出

- 新規就農志望調書に必要事項を記入の上で提出してください
- ※9月末締め切りです。

## ☆選考・結果通知

- 浦河町担い手育成総合支援協議会で選考が行われます。
- 浦河町は現在4戸の研修先農家があり、研修先についてもこの時点で連絡します。

## ☆就農研修

- 基本的に2年間町内先進農家で現地研修を行っていただき、夏いちご栽培技術を習得していただきます。
- 農業大学校で経営研修を受講していただきます。
- 研修期間に就農計画を作成していただきます。

## ☆最終決定

- 研修受入農家と担い手協議会で新規就農者としてふさわしいか検討し、問題がなければ就農開始となります。
- 基本的に町有リースハウスでの就農となります。

## ○浦河町のいちご農家の仕事について

浦河町では、高設ベンチを使用したいちご栽培を行っております。これは110cm程度の高さに栽培槽を設置し、栽培管理や収穫作業をしやすくするためです。大規模な畑作と違いトラクターなどの操作は必要ありませんが、夏いちご一株一株に対し力を注いで作業していただくことが必要となります。

2月に定植した夏いちごは、5月に花を咲かせ6月末ごろから収穫となり、7月から8月が収穫のピークとなります。その後11月中に出荷が終了し翌年の定植までに後片付けなどの準備作業を行います。

浦河町では、ひだか東農協での共同選果・共同出荷を行っているため、基本的には自分での出荷の手間は必要ありません。

## 夏いちご年間作業の流れ



## いちご栽培収支モデル

- ①労働力：2名
- ②栽培規模：100坪4棟（町リースハウス）
- ③収穫時期：春～秋（6月下旬～11月下旬）

### 【1】収入

項目	金額（全体平均）	金額（上位平均）
販売量（kg）・・・①	4,300	6,500
販売単価（円/kg）・・・②	2,100	2,260
販売金額（①×②）	9,030,000	14,690,000

※国や町からの補助金を除いております。

### 【2】支出（生産費）

項目	金額（全体平均）	金額（上位平均）	備考
種苗費	900,000	900,000	7,200本
肥料費	170,000	170,000	
農薬費	120,000	120,000	
諸材料費	1,500,000	1,200,000	
動力光熱費	800,000	550,000	
販売費用	1,500,000	2,400,000	販売手数料等
ハウスリース料	1,600,000	1,600,000	※1棟40万円
その他	100,000	100,000	
計	6,690,000	7,040,000	

※雇人費、長期借入金返済、減価償却費など生産者ごとに変動が大きい項目は除いております。

### 【3】農業所得（収入－支出）

全体平均 2,340,000円（所得率25.9%）  
 上位平均 7,650,000円（所得率52.1%）